

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月18日 (2010.11.18)

【公開番号】特開2009-91283(P2009-91283A)

【公開日】平成21年4月30日 (2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2007-261941(P2007-261941)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/47 (2006.01)

A 6 1 K 8/97 (2006.01)

A 6 1 Q 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/16 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

C 1 2 N 9/99 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/78 L

A 6 1 K 8/97

A 6 1 Q 19/08

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 17/16

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 2 3 L 1/30 B

C 1 2 N 9/99

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月4日 (2010.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明のマトリックスメタロプロテアーゼ阻害剤は、皮膚の老化の予防又は改善のためのものであって、トウダイグサ科アカメガシワ (Mallotus japonicus Mueller-Arg) の抽出物よりなることを特徴とする。抽出物の作製は、常法に従って行えば良く、植物体 1 質量部に対して、溶媒 1 ~ 100 質量部を加え、常温であれば数日間、沸点付近の温度であれば数時間浸漬し、所望により濾過などで不溶物を取り除き、所望により減圧溜去、凍結乾燥等で溶媒を除去することも出来る。更に、これらの抽出物をカラムクロマトグラフィーや液液抽出などで分画精製することも出来る。カラムクロマトグラフィーとしては、シリカゲルカラムクロマトグラフィー、「ダイアイオン HP - 20」のようなイオン交換樹脂、ODS 等が好適に例示できる。勿論、植物体の一部又は全部を粉碎など加工しただけのものも本発明の抽出物に含まれる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

以下に示す処方に従って、皮膚外用剤を作製した。即ち、イ、ロの成分を 8 0 に加温し、イを混練りしてゲルを形成させ、この中にハを加えて溶解させ、これに攪拌下徐々に口を加えて乳化し、攪拌冷却して油中水乳化剤形の化粧料 1 を得た。同様に操作して、抽出物 1 を水に置換したブラシーボ 2 も作製した。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 2 2 】

< 試 験 例 2 >

化粧料 1 とブラシーボ 2 とを、皮膚のハリ・弾力感の衰えで悩む 4 0 ～ 5 0 歳の女性パネラー 1 0 名を使用して、使用テストで評価した。1 0 名は平均年齢が同程度になるように、かたよりの無いように 5 名ずつ 2 群に群わけした。それぞれの群は、1 日朝晩 2 回適量を塗布してもらい、これを 6 0 日続けた。最後の投与の 4 8 時間後に、肌の改善度合いを、スコア 0 : 改善無し、スコア 1 : 少し改善が感じられる、スコア 2 : 改善したと感じる、スコア 3 : 明瞭に改善した、スコア 4 : 著しく改善した、の基準でスコアを賦してもらった。結果を表 5 に出現例数として示す。これより、改善実感と MMP 1 及び MMP 9 の抑制作用がリンクしていることが分かる。